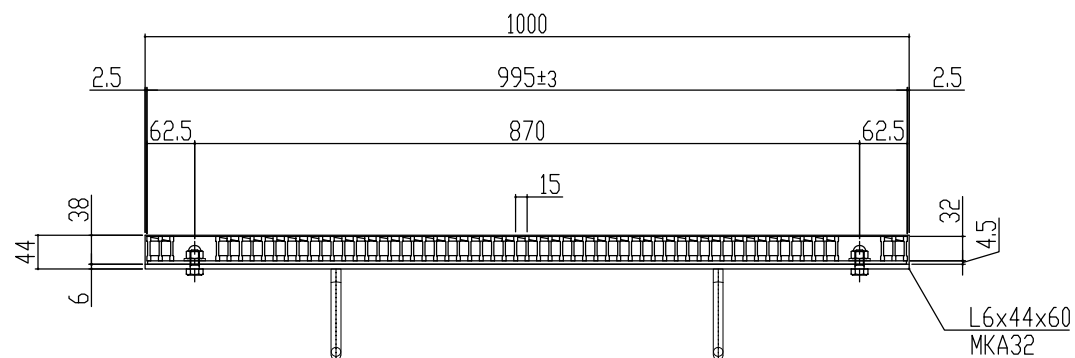
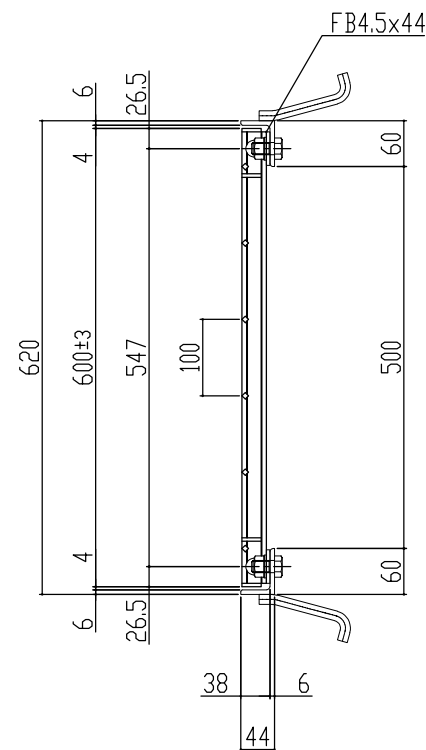
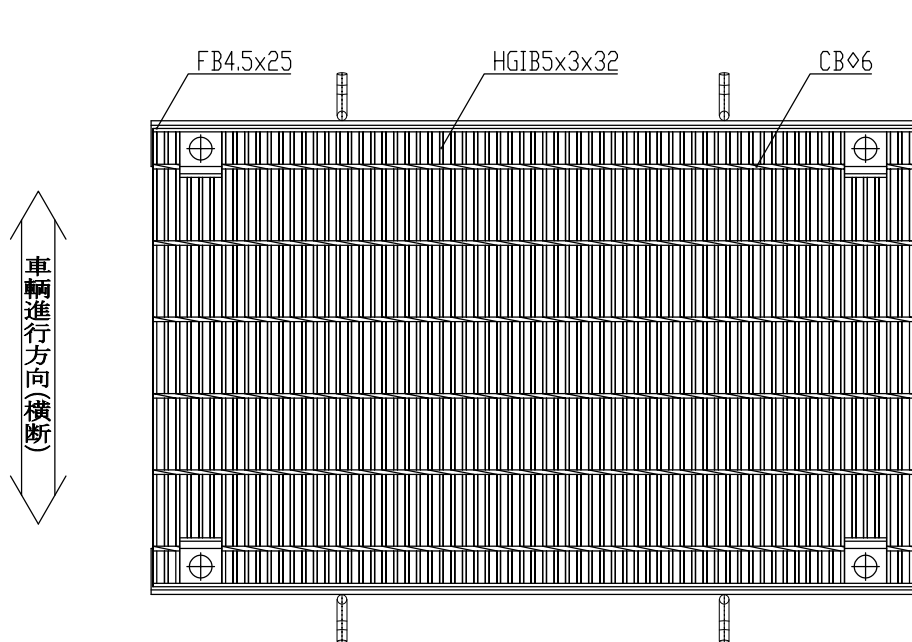




主部材詳細図

本体重量	44.8kg
受枠重量	9.9kg
合計重量	54.7kg

表面処理 本体は熔融亜鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)
受枠は錆止め黒塗装仕上げ

訂正年月日		訂正番	訂正年月日	訂正事項		訂正者	承認印	承認印	検印	製図	図面名称 一般側溝用(ハイテン)グレーチング ノンスリップ 溝幅500用 細目ボルト固定KAタイプ T-14(一般荷重用) LNHMB325-5	図番	MAH株式会社 マキテック MK駐輪事業部
	標準製作図面							平元	山口	松本			
	試作図面												
	特注図面												
	検討図面							材質	数量	縮尺			
						主部材SS540							

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品 名	LNHMB325-5(一般荷重用)
	製品寸法	600x995x32
	主部材	I - 5 × 3 × 32
	断面係数	Z = 0.794 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-14	支点間距離	L = 500
	後輪一輪荷重	P = 56000 N	衝撃係数	i = 0.4
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 15 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 56000 \times (1 + 0.4) \times 15 / 100000$ $\omega = 11.76 \text{ (N/mm)}$			
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。 $M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2 \quad \text{より}$ $M = 11.76 \times 0.5 \times 200 \times (500 - 0.5 \times 200) / 2$ $M = 235,200 \text{ (N・mm)}$			
	3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。 $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 235,200.0 / 794.000$ $\sigma_b = 296.22 \text{ (N/mm}^2\text{)}$			
	従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、 $\underline{\underline{296.22 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}}$			

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--